

# 中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所  
地域教育支援スタッフ

no  
**6**

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013

チュウホクドットコム

中北の地域社会 (COMmunity) の心の交流 (COMmunication) をめざします

## 平成26年度 第2回 峡中地区 ・峡北地区 地域教育推進連絡協議会

2月12日に、北巨摩合同庁舎で第2回峡中地区・峡北地区合同地域教育推進連絡協議会を開催しました。本年度の年間テーマ「子どもを守る」に沿って、今回も「いじめ問題」を取り上げ、「CAPやまなし」代表の時田理香氏より、「子ども達を守るために大人ができること」と題して、CAPプログラムによるワークショップを開きました。次のような内容で、ご講演をしていただきました。

〈講演 「子ども達を守るために大人ができること」〉



CAPは、子どもの人権が尊重される社会の形成に寄与するために、人権意識を育て、「安心」「自信」「自由」が確保されるよう、ワークショップを通して現在も活動を進めています。CAPプログラムのCAPとは英単語の頭文字を取って「子どもへの暴力防止」を表すという説明の後、プログラムの歴史、大人ワークショップと子どもワークショップの紹介がありました。

「人権」を奪われそうになったとき

誰にでも「安心」して「自信」をもって「自由」に生きる権利がある。この権利を奪われたときにはどう対処できるか考える。

「いや」と言う(自分の意思を表明する)

逃げる(その場を離れる)

誰かに話す(相談する)

自分が困っているとき、安心・自信・自由のために周りに話すことは「チクる」とは言わない

まず、子ども達の話を聴く

私たち大人は、「子ども達の話

「がんばれ」と言う前に

袋小路に追い込まれている(いじめや暴力等による)子どもに、自分で何とかさせようとしても難しい。そのような状態にある子どもは、不安を抱えた「安心でない状態」であり、無力感に陥っている「自信がない状態」であり、行動の選択肢がないと思いつく「自由でない状態」である。そういう子に頑張るように言っても、頑張る術がない。まず、「あなたは生きるに値する人間である」ということを伝えることが大事である。





田  
理  
香  
氏

### まわりの大人には何ができるか

- (1)「安心」「自信」「自由」という権利について子ども達に伝える。
- (2)暴力防止について子どもと話し合う
- (3)子どもの力を信じる
- (4)子どもたちの話を聴く

打ち明けられた時にする言葉かけ

「話してくれてありがとう」

「あなたが悪いんじゃないよ」

「あなたの言ったことを信じるよ」

- (5)行動の選択肢を一緒に考える
- (6)問題を抱える子どもの共通する心理を知る

### 子ども達へのまなざし

「心配」ではなく「信頼」を、「干渉」ではなく「関心」を。

### ワークショップの実際

ワークショップは、おおよそ次のように行われました。

場面設定：「学校から帰って来るなり、『もう学校へ行きたくない』と言って部屋に閉じこもってしまった子どもへ声をかける」

課 題： 子どもへの声かけと、予想される子どもの応答を通して、望ましい関わり方を考える。

方 法： 6人1組でグループを作る。全員で親の役と子どもの役を役割交代し、前の人  
の台詞を受けて、それに応える台詞を  
シートに書き込みながら、順番にグ  
ループ内で回していく。

このワークショップは参加者には非常に好評でした。参加者同士の声かけ内容の学び合いが新鮮だったようで、アンケートにも「講演だけでなく参加者の声を取り入れるように工夫されていて、勉強になった」「保護者や子ども達にもワークショップ(CAPプログラム)を体験して欲しい」との感想がたくさんありました。アンケート結果からは、今回も約8割の参加者から「よかった」との評価が得られ、今年度最後の研修も充実した内容で終わることができました。



### 〈協議会・情報交換〉

研修後の協議会では、26年度事業の振り返りと27年度の予定を確認した後、各組織・団体の役員の引き継ぎについて、お願いいたしました。

情報交換会では、「あけぼの支援学校」からの地域支援活動の報告と、「葦崎市教育委員会」より武田の里生涯学習フェスティバルの案内について紹介がありました。

27年度に向けても、協議会の皆様のご協力の下、青少年の健全育成をめざして充実した活動ができるよう、今から取り組んで参りたいと思います。

最後になりますが、地域教育推進連絡協議会委員の皆様方には、この1年間のご協力に対して、心より感謝申し上げます。今後も、それぞれのお立場の中で青少年の健全育成に対して、活動を推進して下さいますようよろしくお願いいたします。



峡中地区地域教育推進連絡協議会  
峡北地区地域教育推進連絡協議会



## 高校生の活動紹介

### スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)成果発表会

山梨県下においては、都留、甲府南、巨摩、韮崎、日川、甲陵、山梨英和の7校が、文部科学省よりスーパーサイエンス・ハイスクールの研究指定を受けています。2月に各校で研究発表会が開催されました。今回は、韮崎高等学校と山梨英和中・高等学校の発表会の様子を紹介します。

#### 韮崎高等学校

2月16日(月)に行われた韮崎高校SSH研究成果発表会では、研究授業と課題研究発表が公開されました。



課題研究発表では、28の研究テーマについて、代表生徒発表・ポスター発表が行われましたが、研究内容の質の高さやプレゼンテーションの力(表現、伝える力)には目を見はるものがありました。積み重ねによるものか、全般的に2年生の発表は堂々としたものであり、中には、英語で論文をまとめ、発表している生徒もあり、見応えのあるプレゼンテーションを披露していました。

科学分野を中心としたSSHの研究活動は、科学に対する生徒達の興味関心を広げ、さらにその先の自分の将来へ繋がっていくことを期待させるものでした。また、培った力を還元していく意味で、これからも地域の小中学生に科学の楽しさや魅力を伝えていってほしいと感じました。

#### 韮崎工業高等学校生徒研究発表会

2月14日(土)に韮崎工業高等学校において、生徒研究発表会が開かれました。当日は、第5回関東甲信越大会で優勝した瀬川君から、練習の取り組みについての発表がなされたほか、インターンシップ実践発表、各科からの課題研究の成果発表が行われました。

瀬川君は、溶接は技術ではあるけれど、清掃や片付けといった日常の生活態度が結果に表れることや、指導の先生の当を得た指導計画に基づいた指導、そして先輩から後輩へと受け継がれてゆく「思い」といったことが成果につながり、それは普段の

#### 山梨英和中・高等学校

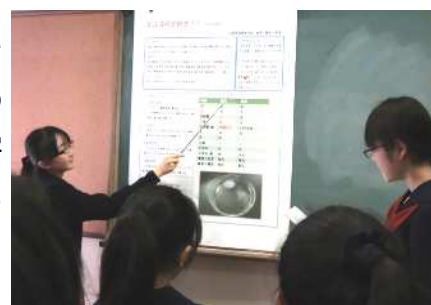
2月14日(土)に行われた山梨英和中・高校SSH研究成果発表会では、ポスター発表による研究発表と研究授業、研究報告会が公開されました。

SSH研究開発校が、それぞれ独自のテーマを持つ中、山梨英和中・高等学校では、学校の特色を活かし、「女性特有のきめ細やかな視点を大事にした理科教育」と「中・高一貫校の強みを活かした研究開発」を研究の主軸にしています。

チャペルで行われた研究発表では、自然科学同好会より、愛宕山の土中に生息するササラダニ類を指標生物として行った、森林の環境評価の発表がされました。

25本の生徒発表のうち11本が英語で行われるなど、学校の伝統を活かした活動が目を引きました。

理系女子(いわゆるリケジョ)の育成が科学技術白書でうたわれている中、彼女たちの中から、将来の日本を背負う科学者が生まれることを期待します。



学校生活の延長線上にあることを体験を通じて語ってくれました。

会場には、同校生徒の他に、企業関係者や保護者、中学生が集まり、熱心に話を聞いていました。



## 子育て支援リーダー・ステップアップ講座

県では、子育て支援者のスキルアップをねらいとした講座を開設します。県内で活躍中の多数の子育て支援者、これから子育て支援をしようと考えている方の応募をお待ちしております。

以下は26年度の講座について紹介します。

(平成27年度の受講生募集は27年4月より実施する予定です。)

### 講座の概要

#### 1. 趣旨

地域の人間関係の変化に伴う子育ての不安感や孤立感を解消するために、現在活動中の子育て支援者を対象にした最新の研究成果を取り入れた講座を開設し、地域での子育てや家庭教育支援の活動を積極的に推進できる人材を養成する。

#### 2. 受講対象

- (1) 子育て支援リーダー養成講座等の県の子育て支援者養成事業を修了し、子育て支援活動をしている者
- (2) 市町村の子育て支援行政担当職員
- (3) 子育て支援団体のリーダー
- (4) 児童民生委員等、子育て支援実践者や子育て支援に関心をもつ者で、自己の資質向上を目指す者

#### 3. 実施方法

- (1) 研修日数は10日間とし、研修終了者には修了証を交付する。
- (2) 終了者名簿を作成し、市町村等の関係機関に紹介する。
- (3) 受講料・資料代は無料とする。交通費は自己負担とする。



詳細につきましては山梨県のホームページをご覧ください

子育て支援リーダー 山梨県

検索

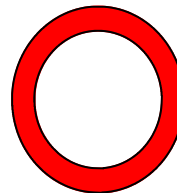
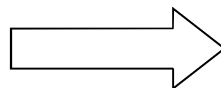
## 生涯学習ボランティアバンクの『やまなしまなびネット』への統合のお知らせ

・平成6年より続いてきました「生涯学習ボランティアバンク」が平成27年度より、『やまなしまなびネット』へ統合されます。今まで登録されてきた方には、お礼と新制度移行へのお願いが届いているかと思えます。ぜひ、更新していただけますよう、お願い申し上げます。

・講師等をお願いしたいという方、新規に登録をされたいという方は、『やまなしまなびネット』で検索の上、ご利用ください。( <https://www.manabi.pref.yamanashi.jp/index.jsp> からどうぞ)



ボランティア  
バンク



まなびネット

平成26年度 『中北.com』 6

編集・発行 中北教育事務所 地域教育支援担当  
内藤 阿部 野崎

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4

電話 0551-23-3046

Fax 0551-23-3013

中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>